

県外派遣報告書

審判員名	若林 哲	所属	中体連
大会名	平成27年度 男性関東講習		
期 間	平成27年7月4日(土)、5日(日)		
会 場	法政大学第二高等学校		
スケジュール			
期 日	内 容	場 所	
7月4日(土)	ルールテスト・フィットネステスト	法政大学第二高等学校	
7月5日(日)	実技	法政大学第二高等学校	
会議 講義 内容			
<p>審査委員長の小林哲夫氏から「今日まで相当な努力を重ねてきたはず。それを信じて、思う存分に力を発揮して欲しい」とのお話があった。</p> <p>関東ブロック審判長の安西郷史氏からは「ここにいるということは、A級の素質があり、正しい方向性を持って努力し続けたということ。関東のA級は全国的に見てもトップレベル。この場から1人でも多くのA級が出ることを期待している。是非、欲を持って臨んで欲しい」とのお話を頂いた。</p>			
実技			
担当試合	期 日	7月5日(日)	男子
	対戦カード	法政大学 VS 神奈川大学	副審
	相手審判	石崎 公一氏(群馬県)	
ミーティング内容		主任	清水 幹治氏(神奈川県)
<p>平等感をもっと大切にして欲しい。同じプレイには同じ判定をすることが大切。そしてどちらが先に仕掛けたのかをもっと見て判定するべきである。エリアやプレイの角度によっては、2人で笛が鳴ることが逆に違和感を生むことがある。責任エリアをもっと意識すること。トレイルの役割としてエリア3はもちろん、ハイポストのエリアもトレイルが見なければならない。必要であれば、きちんとコートに踏み込んだり、下りたりしてハイポスト付近のプレイをしっかりとカバーすること。このレベルは声を掛けて治めようとしても無意味。声を掛けるのであれば吹くべき。</p>			
全体の感想			
<p>2度目の関東講習として参加をさせて頂きました。フィットネスの走り方など、細かいところにも気を配って臨みました。結果としては今年も2次審査に残ることができず、期待されるような結果を残すことができませんでした。その点に関しては本当に悔しいと思いますし、推薦して下さった方々に対して大変申し訳ないと思います。一番の課題は「そのプレイが最初に起こった時に、適切に判定をすること」だと痛感しました。ゲームの途中で感じ取るのではなく、「これは許せない」という自分の中での確固たる考えを持って判定することが大切だと思いました。また来年もこの場に立てるように、そして上級審判員として推薦してもらえるよう自分を見つめ直し精進していきます。</p> <p>今回の場に推薦して下さった埼玉県バスケットボール協会の方々をはじめ、神奈川県協会の方々に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。</p>			